

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



この事業は、SDG's で掲げる目標の内、3・5・10・11 に該当する活動として実施します。

特定非営利活動法人
きょうとNPOセンター
オンラインシンポジウム

DV被害者支援の 現状と課題

DV被害者の安心・安全な居場所づくりをめざして

DV被害者にとって、暴力からの一時的な避難や回避、離婚は最初をめざすべきゴールです。しかし、DV被害者にとってはその後の本質的な自立にむけた多様な支援が必要です。本シンポジウムにおいてはDV被害者支援の現状を知るとともに、DV被害者にとって安心して生活できる居場所づくりと再起に関する多様な支援のあり方を一緒に考えます。

10/1 sat

オンライン——参加無料

14:00 ~ 16:45

お申込み方法など詳しくは裏面をご覧ください。

主催 きょうとNPOセンター 共催 近畿労働金庫

後援 京都労働者福祉協議会、京都府生活協同組合連合会、
龍谷大学大学院政策学研究科

特定非営利活動法人
きょうとNPOセンター
はたらくあなたへ、笑顔を届けに
近畿ろうきん

プログラム

当シンポジウムは、京都市市民活動総合センターから、オンライン配信し実施いたします。

▶▶ 14:05～ 基調講演 DV 被害者支援の現状と課題ー公的支援の領域を中心にー



元配偶者による DV 被害からの避難、調停、裁判を経て離婚。その後 DV 被害による PTSD (心的外傷後ストレス障害) やひとり親子育ての中での就労や経済的困窮など、様々な課題に向き合いながら大学院へ進学。今回は、自らの DV 被害の経験に基づき、多様な支援の必要性やあり方についてお話いただきます。

坂本 未希さん

龍谷大学大学院政策学研究科修了、特定非営利活動法人働きたいおんなたちのネットワークスタッフ、京都府政策企画部地域政策室会計年度任用職員。大学院にて、DV 被害者の視点から DV 被害者の現状と多様な支援策の機能的環境の構築について研究し、修士論文を執筆。現在、様々なネットワークを手繰りながら同じ境遇にある女性等に対する支援環境の構築を模索中。シンポジウムにもパネラーとしてご参加いただきます。

▶▶ 15:15～ シンポジウム DV 被害者の安心・安全な居場所づくりを目指して



杉山 史恵さん

社会福祉法人衆善会 児童養護施設和敬学園
主任心理療法担当職員

京都女子大学大学院文学研究科教育学専攻臨床心理学領域修士課程修了。臨床心理士。公認心理士。大学院の頃より児童養護施設の臨床に携わり、2018 年より現児童養護施設の心理療法担当職員として社会的養護児童のケアに従事している。



張 善花さん

公益財団法人 京都 YWCA
職員

京都大学大学院教育学研究科臨床教育学専攻心理臨床学博士課程修了、韓国・アメリカ・フィリピン・日本で生活、カウンセリング・教育分野の職歴もち、2017 年 1 月から京都 YWCA 内の多言語相談事業 APT (Asian People Together) を担当して、外国人相談、特に移住女性 DV 被害者とその子どもたちの相談及び支援を行っている。



齋藤 佳津子さん

一般財団法人 社会的認証開発推進機構
専務理事

全国の社会的養護関係施設及び京都府内の福祉サービス第三者評価事業評価調査者、元京都 YWCA スタッフ。子どもの育つ環境や親の子育て支援のあり方を研究テーマとし、京都女子大学大学院博士後期課程で学ぶ。現在、朗読劇、俳優として舞台でも活躍中。

参加申込の方法

締切 9/28(水)

下記 URL の参加申込みメールフォームまたは以下の内容を電話・ファックス・メールのいずれかでお申込みください。

- ① 件名：10/1 シンポ ② お名前 ③ ご所属 ④ 電話番号・FAX 番号 ⑤ メールアドレス



参加申込メールフォーム

<https://kyoto-npo.org/?p=2565>

- ※ メールアドレスは、PC から送信されたメールを受信可能であること。
- ※ お申込みのメールアドレスに後日 Zoom の URL をお送りします。

お問合せ・お申込み先

☎ 075-744-0944

📠 FAX 075-744-0945

✉ office@kyoto-npo.org

特定非営利活動法人
きょうとNPOセンター